

VI章 資料

- 1 平均寿命関連資料
都道府県別平均寿命の推移(平成12年→17年、男女別)
平均余命の平成12年・17年の比較)
- 2 年齢調整死亡率関連資料
都道府県別の年齢調整死亡率・平成17年・12年の比較、
疾病別年齢調整死亡率・平成17年・12年)
- 3 用語集
- 4 関係する月間・週間一覧
- 5 アクションプラン策定の経緯
- 6 アクションプラン策定に関する会議(平成19年度)
健康おきなわ2010推進県民会議
健康おきなわ2010推進検討委員会
有識者懇談会
健康おきなわ2010分野別検討委員会
- 7 その他
データの取り扱い
(本計画に記載されている県民健康・栄養調査のデータについて)
ブレスローの7つの生活習慣の質問項目

平均寿命の平成12年と平成17年の推移（都道府県別・男女別）

＜男性＞

都道府県	平成12年		都道府県	平成17年		都道府県	平成12年 →平成17年	
	平均寿命	順位		平均寿命	順位		延び	順位
長野	78.90	1	長野	79.84	1	滋賀	1.41	1
福井	78.55	2	滋賀	79.60	2	岡山	1.41	2
奈良	78.36	3	神奈川	79.52	3	東京	1.38	3
熊本	78.29	4	福井	79.47	4	佐賀	1.36	4
神奈川	78.24	5	東京	79.36	5	広島	1.30	5
滋賀	78.19	6	静岡	79.35	6	石川	1.30	6
京都	78.15	7	京都	79.34	7	神奈川	1.28	7
静岡	78.15	8	石川	79.26	8	大阪	1.23	8
岐阜	78.10	9	奈良	79.25	9	宮崎	1.21	9
埼玉	78.05	10	熊本	79.22	10	静岡	1.21	10
千葉	78.05	11	岡山	79.22	11	京都	1.19	11
富山	78.03	12	富山	79.07	12	兵庫	1.15	12
愛知	78.01	13	広島	79.06	13	茨城	1.15	13
香川	77.99	14	愛知	79.05	14	福岡	1.14	14
東京	77.98	15	埼玉	79.05	15	新潟	1.09	15
石川	77.96	16	岐阜	79.00	16	山口	1.08	16
大分	77.91	17	大分	78.99	17	全国	1.08	…
三重	77.90	18	千葉	78.95	18	大分	1.07	17
山梨	77.90	19	香川	78.91	19	高知	1.07	18
群馬	77.86	20	三重	78.90	20	愛知	1.04	19
岡山	77.80	21	山梨	78.89	21	富山	1.03	20
広島	77.76	22	全国	78.79	…	沖縄	1.00	21
宮城	77.71	23	群馬	78.78	22	三重	1.00	22
全国	77.71	…	新潟	78.75	23	山梨	0.99	23
山形	77.69	24	兵庫	78.72	24	埼玉	0.99	24
新潟	77.66	25	沖縄	78.64	25	鹿児島	0.99	25
沖縄	77.64	26	宮崎	78.62	26	和歌山	0.97	26
兵庫	77.57	27	宮城	78.60	27	島根	0.95	27
北海道	77.55	28	山形	78.54	28	愛媛	0.95	28
島根	77.54	29	島根	78.49	29	長野	0.93	29
宮崎	77.42	30	茨城	78.35	30	熊本	0.93	30
鳥取	77.39	31	福岡	78.35	31	福井	0.92	31
愛媛	77.30	32	佐賀	78.31	32	群馬	0.92	32
長崎	77.21	33	北海道	78.30	33	香川	0.92	33
福岡	77.21	34	鳥取	78.26	34	長崎	0.92	34
茨城	77.20	35	愛媛	78.25	35	徳島	0.90	35
徳島	77.19	36	大阪	78.21	36	岐阜	0.90	36
福島	77.18	37	長崎	78.13	37	千葉	0.90	37
栃木	77.14	38	山口	78.11	38	宮城	0.89	38
岩手	77.09	39	徳島	78.09	39	奈良	0.88	39
山口	77.03	40	栃木	78.01	40	鳥取	0.87	40
和歌山	77.01	41	和歌山	77.97	41	栃木	0.87	41
鹿児島	76.98	42	福島	77.97	42	山形	0.85	42
大阪	76.97	43	鹿児島	77.97	43	福島	0.80	43
佐賀	76.95	44	高知	77.93	44	北海道	0.74	44
高知	76.85	45	岩手	77.81	45	岩手	0.71	45
秋田	76.81	46	秋田	77.44	46	秋田	0.63	46
青森	75.67	47	青森	76.27	47	青森	0.60	47

＜女性＞

(単位：年)

都道府県	平成12年		都道府県	平成17年		都道府県	平成12年 →平成17年	
	平均寿命	順位		平均寿命	順位		延び	順位
沖縄	86.01	1	沖縄	86.88	1	大分	1.36	1
福井	85.39	2	島根	86.57	2	鳥取	1.36	2
長野	85.31	3	熊本	86.54	3	東京	1.32	3
熊本	85.30	4	岡山	86.49	4	神奈川	1.28	4
島根	85.30	5	長野	86.48	5	石川	1.28	5
岡山	85.25	6	石川	86.46	6	兵庫	1.27	6
富山	85.24	7	富山	86.32	7	島根	1.27	7
山梨	85.21	8	鳥取	86.27	8	滋賀	1.25	8
新潟	85.19	9	新潟	86.27	9	岡山	1.24	9
石川	85.18	10	広島	86.27	10	熊本	1.24	10
宮崎	85.09	11	福井	86.25	11	福島	1.23	11
広島	85.09	12	山梨	86.17	12	岐阜	1.23	12
佐賀	85.07	13	滋賀	86.17	13	福岡	1.22	13
静岡	84.95	14	宮崎	86.11	14	大阪	1.19	14
滋賀	84.92	15	大分	86.06	15	愛知	1.18	15
鳥取	84.91	16	静岡	86.06	16	徳島	1.18	16
香川	84.85	17	佐賀	86.04	17	広島	1.18	17
北海道	84.84	18	神奈川	86.03	18	長野	1.18	18
長崎	84.81	19	京都	85.92	19	山形	1.15	19
京都	84.81	20	香川	85.89	20	全国	1.13	…
奈良	84.80	21	高知	85.87	21	京都	1.11	20
高知	84.76	22	長崎	85.85	22	青森	1.11	21
神奈川	84.74	23	福岡	85.84	23	高知	1.11	22
宮城	84.74	24	奈良	85.84	24	静岡	1.11	23
大分	84.69	25	北海道	85.78	25	和歌山	1.11	24
鹿児島	84.68	26	宮城	85.75	26	三重	1.09	25
福岡	84.62	27	全国	85.75	…	新潟	1.08	26
全国	84.62	…	山形	85.72	27	富山	1.08	27
山口	84.61	28	東京	85.70	28	愛媛	1.07	28
岩手	84.60	29	鹿児島	85.70	29	茨城	1.04	29
愛媛	84.57	30	徳島	85.67	30	長崎	1.04	30
山形	84.57	31	愛媛	85.64	31	奈良	1.04	31
千葉	84.51	32	山口	85.63	32	香川	1.03	32
徳島	84.49	33	兵庫	85.62	33	鹿児島	1.02	33
三重	84.49	34	三重	85.58	34	宮崎	1.02	34
群馬	84.47	35	岐阜	85.56	35	山口	1.02	35
東京	84.38	36	千葉	85.49	36	宮城	1.01	36
埼玉	84.34	37	岩手	85.49	37	群馬	1.00	37
兵庫	84.34	38	群馬	85.47	38	栃木	0.99	38
岐阜	84.33	39	福島	85.45	39	千葉	0.98	39
秋田	84.32	40	愛知	85.40	40	佐賀	0.97	40
和歌山	84.23	41	和歌山	85.34	41	山梨	0.96	41
愛知	84.22	42	埼玉	85.29	42	埼玉	0.95	42
福島	84.21	43	茨城	85.26	43	北海道	0.94	43
茨城	84.21	44	大阪	85.20	44	岩手	0.89	44
栃木	84.04	45	秋田	85.19	45	秋田	0.87	45
大阪	84.01	46	栃木	85.03	46	沖縄	0.87	46
青森	83.69	47	青森	84.80	47	福井	0.86	47

出典：厚生労働省 平成17年都道府県別生命表の概況

主な年齢の平均余命と全国順位(平成12年と平成17年の比較) 男性

平成12年(男性)

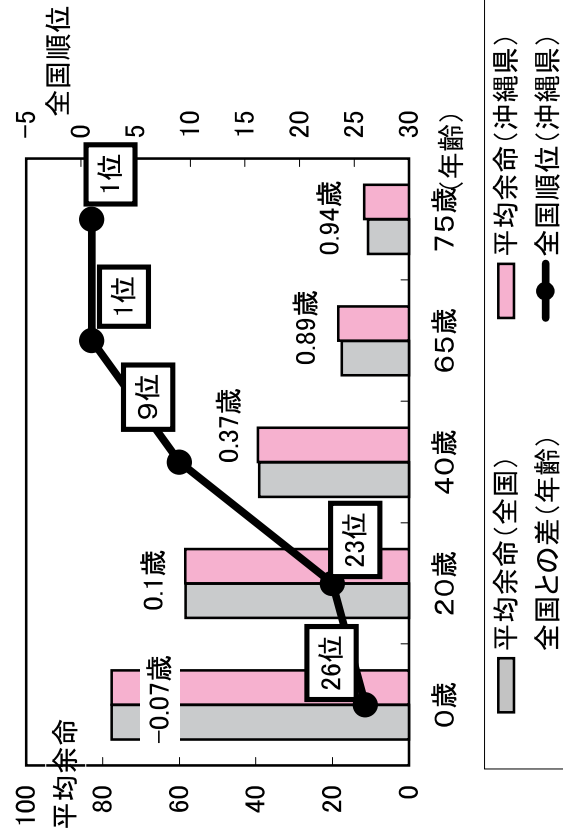
年齢	0歳	20歳	40歳	65歳	75歳
平均余命(全国)	77.71	58.32	39.13	17.56	10.78
平均余命(沖縄県)	77.64	58.42	39.50	18.45	11.72
全国との差(年齢)	-0.07	0.10	0.37	0.89	0.94
全国順位(沖縄県)	26	23	9	1	1

平成17年(男性)

年齢	0歳	20歳	40歳	65歳	75歳
平均余命(全国)	78.79	59.31	40.08	18.33	11.27
平均余命(沖縄県)	78.64	59.18	40.22	19.16	12.22
全国との差(年齢)	-0.15	-0.13	0.14	0.83	0.95
全国順位(沖縄県)	25	26	20	1	1

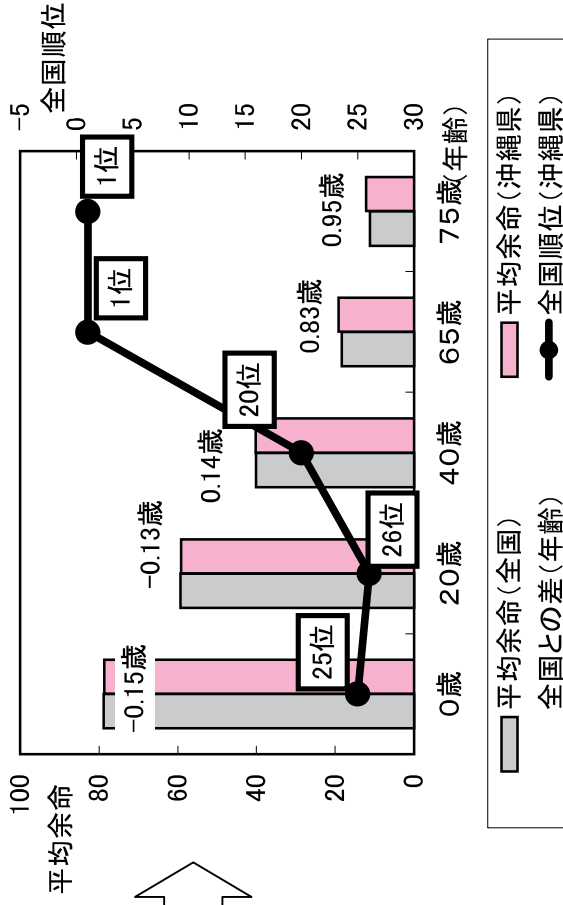
主な年齢の平均余命と全国順位(平成12年:

男)



主な年齢の平均余命と全国順位(平成17年:

男)



主な年齢の平均余命と全国順位(平成12年と平成17年の比較) 女性

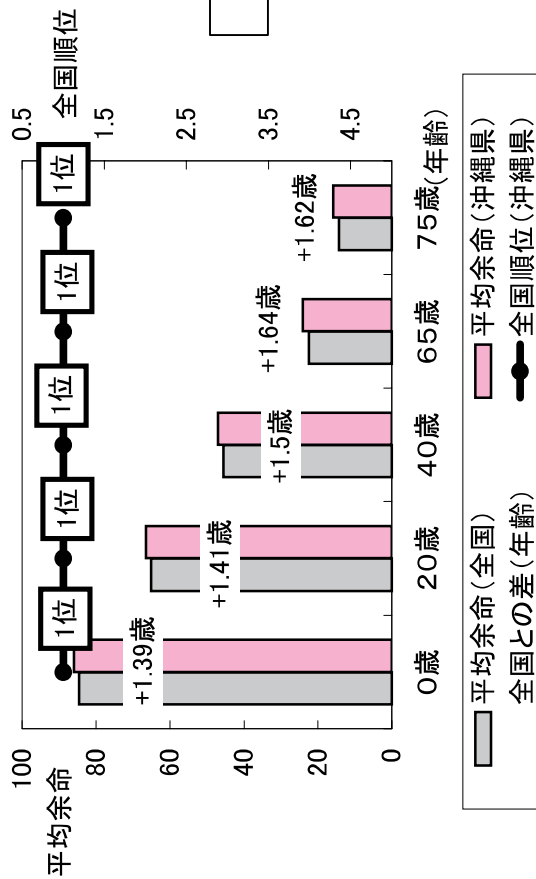
平成12年(女性)

年齢	0歳	20歳	40歳	65歳	75歳
平均余命(全国)	84.62	65.10	45.54	22.46	14.24
平均余命(沖縄県)	86.01	66.51	47.04	24.10	15.86
全国との差(年齢)	1.39	1.41	1.50	1.64	1.62
全国順位(沖縄県)	1	1	1	1	1

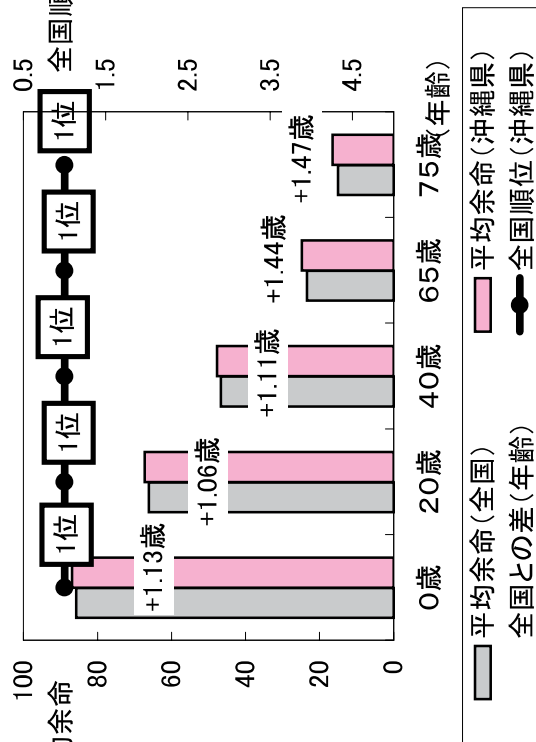
平成17年(女性)

年齢	0歳	20歳	40歳	65歳	75歳
平均余命(全国)	85.75	66.17	46.61	23.42	15.06
平均余命(沖縄県)	86.88	67.23	47.72	24.86	16.53
全国との差(年齢)	1.13	1.06	1.11	1.44	1.47
全国順位(沖縄県)	1	1	1	1	1

主な年齢の平均余命と全国順位(平成12年: 女)



主な年齢の平均余命と全国順位(平成17年: 女)



■ 年齢調整死亡率及び全国順位の推移

(全死因：男性、平成12年と平成17年)

(男性)

全国 順位	平成12年	
	都道府県名	年齢調整死亡率
1	長野	579.5
2	福井	589.0
3	岐阜	589.7
4	熊本	591.1
5	神奈川	602.1
6	奈良	602.6
7	滋賀	605.1
8	山梨	607.4
9	静岡	608.2
10	石川	608.7
11	富山	609.3
12	埼玉	610.9
13	千葉	613.6
14	岡山	617.8
15	京都	619.3
16	東京	620.6
17	愛知	622.1
18	新潟	623.7
19	群馬	624.2
20	山形	624.4
21	広島	626.9
22	宮城	628.2
23	香川	630.2
24	沖縄	632.8
	全国	634.2
25	島根	636.3
26	北海道	636.9
27	大分	637.1
28	宮崎	638.6
29	三重	640.2
30	兵庫	643.1
31	岩手	643.8
32	徳島	647.4
33	愛媛	649.3
34	福岡	650.9
35	高知	655.9
36	茨城	656.6
37	鹿児島	657.4
38	福島	660.1
39	栃木	661.1
40	山口	662.3
41	長崎	663.7
42	鳥取	673.0
43	佐賀	673.1
44	和歌山	680.8
45	大阪	683.8
46	秋田	693.0
47	青森	755.9

(男性)

全国 順位	平成17年	
	都道府県名	年齢調整死亡率
1	長野	539.4
2	滋賀	552.3
3	福井	555.3
4	神奈川	559.1
5	熊本	561.3
6	東京	565.9
7	京都	567.8
8	石川	568.7
9	静岡	569.9
10	岡山	572.5
11	岐阜	573.8
12	大分	574.1
13	沖縄	576.6
14	富山	576.9
15	奈良	577.1
16	広島	577.6
17	山梨	578.8
18	愛知	580.4
19	千葉	580.9
20	埼玉	583.9
21	宮崎	587.7
22	三重	588.2
23	香川	588.8
24	新潟	591.8
	全国	593.2
25	群馬	596.1
26	山形	597.0
27	兵庫	597.9
28	宮城	598.3
29	島根	601.4
30	徳島	608.8
31	福岡	610.5
32	北海道	613.4
33	茨城	614.4
34	愛媛	615.1
35	佐賀	616.5
36	長崎	622.8
37	鹿児島	623.2
38	大阪	624.2
39	和歌山	626.9
40	栃木	631.3
41	山口	632.4
42	鳥取	633.8
43	高知	634.9
44	福島	636.2
45	秋田	645.2
46	岩手	647.3
47	青森	733.4

注)年齢調整死亡率：年齢構成の相違を調整し、より正確に地域比較や年次比較をすることができる数値。
(死亡数を人口で割った死亡率を比較すると、高齢者の多い都道府県では高くなり、若年者の多い都道府県では低くなる傾向がある) 単位は人口10万対。

■ 年齢調整死亡率及び全国順位の推移

(全死因:女性、平成12年と平成17年)

(女性)

		平成12年	
全国順位	都道府県名	年齢調整死亡率	
1	島根	286.9	
2	沖縄	288.0	
3	長野	294.1	
4	福井	295.6	
5	新潟	299.6	
6	山梨	300.2	
7	熊本	301.8	
8	富山	302.1	
9	石川	304.6	
10	広島	304.8	
11	岡山	307.8	
12	宮崎	309.2	
13	滋賀	310.4	
14	静岡	312.9	
15	岩手	316.9	
16	北海道	317.0	
17	大分	317.2	
18	宮城	317.7	
19	奈良	318.1	
20	神奈川	318.4	
21	佐賀	318.8	
22	山形	318.9	
23	鳥取	320.7	
24	長崎	320.8	
25	鹿児島	321.0	
26	高知	321.6	
27	京都	322.6	
28	愛媛	323.0	
29	三重	323.3	
	全国	323.9	
30	千葉	324.5	
31	香川	326.5	
32	福岡	328.4	
33	群馬	330.0	
34	秋田	331.0	
35	東京	333.1	
36	和歌山	333.3	
37	埼玉	334.3	
38	福島	334.9	
39	山口	335.2	
40	兵庫	335.2	
41	岐阜	336.0	
42	茨城	336.8	
43	徳島	337.2	
44	愛知	337.5	
45	栃木	343.2	
46	青森	346.5	
47	大阪	347.8	

(女性)

		平成17年	
全国順位	都道府県名	年齢調整死亡率	
1	島根	271.2	
2	長野	273.8	
3	鳥取	276.4	
4	岡山	276.9	
5	新潟	277.0	
6	富山	278.2	
7	熊本	279.5	
8	山梨	280.6	
9	広島	284.0	
10	石川	284.8	
11	大分	284.9	
12	静岡	285.7	
13	沖縄	288.0	
14	福井	288.7	
15	滋賀	288.8	
16	香川	289.9	
17	宮崎	290.1	
18	佐賀	290.6	
19	京都	290.9	
20	神奈川	291.0	
21	宮城	294.4	
22	奈良	294.5	
23	長崎	295.2	
24	北海道	295.7	
25	福岡	295.8	
26	高知	297.6	
27	山形	298.4	
	全国	298.6	
28	東京	299.4	
29	岐阜	299.4	
30	鹿児島	301.1	
31	三重	302.2	
32	岩手	302.4	
33	福島	303.8	
34	千葉	303.9	
35	徳島	304.5	
36	兵庫	305.2	
37	山口	305.4	
38	秋田	305.5	
39	愛媛	305.6	
40	愛知	309.9	
41	埼玉	310.9	
42	茨城	312.7	
43	群馬	316.0	
44	大阪	319.4	
45	和歌山	319.9	
46	青森	322.9	
47	栃木	324.4	

注) 年齢調整死亡率: 年齢構成の相違を調整し、より正確に地域比較や年次比較をすることができる数値。
 (死亡数を人口で割った死亡率を比較すると、高齢者の多い都道府県では高くなり、若年者の多い都道府県では低くなる傾向がある) 単位は人口10万対。

平成17年 沖縄県における主要死因の年齢調整死亡率・年齢階級別死亡率および都道府県順位

(死亡率・人口10万対)

性別	死因	年齢調整死亡率	総数	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-	
				率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)
男	全死因	576.6 13	718.7 1	74.0 14	20.7 38	13.4 34	30.5 14	67.4 21	83.3 34	129.2 45	131.0 36	229.3 45	403.3 46	557.2 46	688.3 29	1039.5 27	1491.5 16	2423.6 6	3742.4 1	6551.6 1	13757.5 1	
	悪性新生物	177.1 2	221.1 1	4.8 41	2.3 25	4.5 42	2.2 14	7.2 35	4.4 16	7.8 23	11.1 9	29.2 17	81.1 38	141.7 19	224.7 4	448.3 21	640.6 9	958.0 1	1432.5 3	2025.2 7	2973.9 16	
	気管支・肺がん	46.1 30	58.3 2								2.0 40	2.2 27	4.5 17	10.7 18	27.2 25	102.9 35	149.8 24	259.5 18	477.5 35	730.4 42	817.1 42	
	心疾患	71.2 3	89.6 1	4.8 31			2.2 28		6.6 28	7.8 20	15.5 26	22.5 17	59.7 46	48.5 8	88.4 18	106.3 4	219.9 28	316.8 13	507.3 4	918.5 4	1701.3 1	
	急性心筋梗塞	28.0 27	35.0 8						2.2 39	2.0 28	6.7 36	7.7 18	19.2 38	15.5 5	40.6 34	39.9 10	89.2 39	145.0 36	197.0 21	453.7 44	522.4 8	
	脳血管疾患	51.9 3	65.7 1						7.8 45	7.8 45	11.1 36	15.7 30	23.5 18	31.1 43	69.3 40	126.2 44	95.6 6	202.3 2	352.2 1	730.4 1	1433.4 2	
	脳内出血	21.3 36	25.4 6						3.9 44	3.9 44	8.9 45	11.2 40	12.8 24	12.8 44	35.8 35	86.3 47	54.2 21	76.3 14	107.4 5	188.1 18	308.1 21	
	肺炎	49.0 12	68.7 1	4.8 37				2.4 41	2.2 39		2.2 30	4.5 41	12.8 47	19.4 47	19.1 37	29.9 17	57.4 10	198.5 43	346.2 4	807.9 3	2893.5 10	
	肝疾患	21.1 47	23.6 47						2.2 45	2.2 45	3.9 45	11.1 47	33.7 47	42.7 47	52.4 45	36.5 25	60.6 43	60.6 43	59.7 40	88.5 43	80.4 31	
	糖尿病	10.0 47	11.9 23						3.9 46					12.8 47	23.3 47	19.1 42	33.2 46	41.4 47	30.5 10	47.7 17	77.5 26	67.0 3
	腎不全	7.7 10	10.1 1						2.0 45	2.0 45	2.2 38	2.2 38	6.4 45	6.4 45	11.9 47	3.3 6	25.5 37	26.7 10	59.7 14	99.6 4	267.9 3	
	不慮の事故	25.2 8	27.8 2	2.4 4	11.5 37	6.7 40	13.1 23	21.7 26	24.1 40	17.6 35	13.3 11	15.7 15	34.1 42	40.8 38	33.5 13	36.5 6	47.8 10	64.9 4	47.7 1	99.6 1	227.7 1	
	自殺	39.4 40	40.3 30				6.5 16	24.1 20	30.7 16	50.9 42	51.1 40	76.4 44	74.7 41	58.2 20	59.7 21	86.3 43	22.3 1	68.7 47	41.8 33	55.3 32	67.0 33	

平成17年 沖繩県における主要死因の年齢調整死亡率および都道府県順位

性別	死因	年齢調整死亡率	総数	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-	
				率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)
女	全死因	288.0 13	615.0 3	57.9 13	7.3 19	4.7 13	11.4 10	38.3 37	45.2 40	32.7 7	72.0 40	86.0 18	183.7 47	235.5 39	321.6 40	492.2 47	714.4 42	1073.2 17	1802.4 10	3324.9 2	9167.7 1	
	悪性新生物	89.2 5	151.7 1	2.5 32			4.6 44		12.9 45	5.8 1	21.8 21	29.4 4	67.8 21	103.3 10	148.2 12	238.0 40	315.9 33	413.8 11	559.6 4	756.4 1	1353.1 7	
	気管支・肺がん	14.5 46	29.0 34						2.2 46		2.2 34	2.3 27		6.2 8	17.6 24	39.1 46	29.5 10	84.1 47	119.3 44	248.4 47	304.2 47	
	心疾患	40.0 8	96.3 1	7.6 42		2.4 43			6.5 43		4.4 23	11.3 46	17.5 44	33.1 47	37.7 44	42.4 22	97.4 38	124.5 7	296.3 10	536.3 1	1639.2 1	
	急性心筋梗塞	16.1 45	35.2 20								2.2 40	2.3 36	8.7 45	20.7 47	20.1 47	22.8 44	44.3 46	57.2 33	127.6 41	214.5 28	504.0 35	
	脳血管疾患	23.1 1	51.5 1								2.2 14	2.3 5	15.3 37	24.8 38	17.6 6	58.7 46	59.0 15	87.5 4	111.1 1	372.6 1	771.9 1	
	脳内出血	8.1 12	15.5 2											6.6 40	14.5 45	29.3 45	11.8 5	37.0 19	41.2 3	118.5 13	172.5 2	
	肺炎	20.1 12	64.7 4	2.5 30				2.4 46			1.9 43		4.5 45	4.4 42	2.1 22	2.5 4	3.3 3	38.4 47	148.1 32	304.8 5	1466.6 13	
	肝疾患	7.5 47	12.0 45						2.2 45		3.8 47	8.7 47	4.5 42	4.4 36	14.5 47	10.0 43	3.3 5	20.7 41	33.6 44	65.8 47	33.9 14	95.4 47
	糖尿病	6.3 47	11.0 26											2.2 36	6.2 46	7.5 44	16.3 47	14.8 43	65.8 46	56.4 19	81.7 7	
	腎不全	4.9 13	15.4 10												2.5 26	3.3 15	5.9 12	13.5 12	41.2 30	90.3 16	326.9 34	
	不慮の事故	8.9 3	14.2 1	5.0 19	2.4 27		4.6 29	12.0 45	4.3 24		3.8 26	4.4 30		6.6 28	8.3 22	17.6 42	19.6 33	14.8 5	20.2 1	24.7 1	62.1 1	154.4 1
	自殺	8.7 6	8.7 2					14.4 33	4.3 5		5.8 7	15.3 39	18.1 45	19.7 44	12.4 17	15.1 18	9.8 2	8.9 8	6.7 3	4.1 2	11.3 4	9.1 2

注：順位は低率順である。
 は、都道府県順位がベスト5。
 は、都道府県順位がワースト5。

平成12年 沖縄県における主要死因の年齢調整死亡率及び年齢階級別死亡率および都道府県順位

(死亡率：人口10万対)

性別	死因	年齢調整死亡率	総数	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-	
				率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)	率 (順位)
男	全死因	632.8 24	680.2 3	140.8 47	17.8 35	6.2 4	67.4 45	92.0 43	94.1 46	126.1 45	173.9 47	303.1 47	400.0 46	485.1 30	788.6 37	1016.5 6	1775.6 17	2721.7 10	4589.7 26	7081.9 1	#####	
	悪性新生物	194.8 5	206.3 1	9.4 47	8.9 45		8.2 41		8.2 35	13.8 32	22.6 29	44.5 29	75.0 13	136.6 2	262.9 7	370.2 1	835.8 20	1124.3 7	1762.0 36	2307.3 23	2156.9 1	
	気管支・肺がん	55.0 45	58.2 8							2.3 20	2.3 20	4.2 11	11.5 15	21.2 8	36.1 6	78.9 11	221.9 47	396.8 46	637.7 47	853.6 47	620.9 22	
	心疾患	78.9 9	85.7 1	2.3 20				2.3 9	6.1 25	9.2 21	24.8 46	29.7 40	42.3 34	47.1 5	115.0 44	133.5 19	267.0 45	315.4 8	579.0 15	986.9 4	1879.1 1	
	急性心筋梗塞	33.3 36	35.9 7					4.1 44		9.0 43	6.4 15	19.2 39	23.6 24	62.4 47	69.8 41	145.7 47	127.2 14	234.9 26	400.1 29	571.9 5		
	脳血管疾患	63.5 5	68.6 1		2.2 45			2.3 43		6.8 19	36.0 47	42.3 45	42.3 45	58.9 44	85.4 42	88.0 10	156.1 8	228.9 2	570.6 16	853.6 1	1552.3 1	
	脳内出血	26.2 45	27.8 23							6.8 42	12.7 43	32.7 47	33.0 45	49.3 43	54.6 42	76.3 36	117.0 45	176.2 44	266.7 37	326.8 20		
	肺炎	48.1 7	55.7 2	4.7 38						2.3 25	2.1 24	9.6 46	23.0 32	23.0 42	36.4 25	59.0 3	203.5 33	203.5 33	444.7 29	800.2 2	2565.4 9	
	肝疾患	20.8 47	21.6 41							4.6 44	9.0 44	21.2 47	42.3 47	54.2 47	49.3 42	66.8 47	31.2 8	71.2 46	58.7 40	80.0 37	81.7 26	
	糖尿病	10.2 46	10.9 20								2.1 21	7.7 43	11.8 41	19.7 44	35.6 47	55.5 47	100.7 15	100.7 47	100.7 47	106.7 1	81.7 10	
	腎不全	6.5 5	7.4 1										5.8 46	3.3 11	6.1 11	24.3 33	24.3 33	15.3 1	67.1 20	106.7 7	261.4 3	
	不慮の事故	31.8 8	32.1 4	9.4 13		2.1 14	49.0 47	62.1 47	30.7 45	13.8 15	11.3 10	23.3 29	28.8 28	44.7 40	29.6 3	39.4 3	24.3 1	24.3 1	66.1 3	142.6 17	160.0 1	147.1 1
	自殺	42.4 45	42.2 42				6.1 13	20.7 21	34.8 45	52.7 44	72.3 47	86.9 47	71.2 45	61.2 27	75.6 29	63.7 33	41.6 10	41.6 10	66.1 46	16.8 2	53.3 21	147.1 47

平成12年 沖縄県における主要死因の年齢調整死亡率及び年齢階級別死亡率および都道府県順位

(死亡率：人口10万対)

性別	死因	年齢調整死亡率	総数	年齢階級別死亡率																		
				0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-	
女	全死因	率 288.0 (順位) 2	534.1 3	86.9 36	7.0 11	6.5 20	12.8 8	21.0 3	40.2 41	49.0 29	70.2 39	111.2 43	190.7 47	178.3 2	307.9 17	410.2 5	717.7 15	1147.7 12	2026.7 3	3178.7 1	9016.3 1	
	悪性新生物	率 87.8 (順位) 2	129.7 1	2.3 32	2.1 21	2.3 15	10.1 40	13.4 21	27.2 25	56.7 42	94.3 44	132.9 2	156.0 2	287.7 6	418.4 9	598.4 6	816.4 3	1116.4 1				
	気管支・肺がん	率 13.5 (順位) 41	22.9 24							2.2 11	8.2 39	10.0 14	28.9 32	48.5 36	53.7 15	135.8 47	220.8 47	239.2 44				
	心疾患	率 39.6 (順位) 1	83.9 2					2.3 36	2.0 28	6.8 37	10.3 24	17.6 30	29.2 30	54.9 32	100.2 31	149.7 10	316.8 4	635.7 3	1629.0 1			
	急性心筋梗塞	率 15.1 (順位) 35	30.0 8								6.2 41	12.6 47	14.4 12	51.7 45	69.1 34	140.8 32	240.9 15	495.5 19				
	脳血管疾患	率 30.0 (順位) 1	62.4 1				2.0 38	4.5 44	2.2 43	2.3 34	10.3 15	15.1 5	35.7 7	87.3 27	115.2 2	226.3 1	421.6 1	1213.2 1				
	脳内出血	率 8.8 (順位) 6	15.3 2								2.1 12	5.0 7	8.7 5	22.6 17	46.1 21	80.5 12	113.8 3	205.0 2				
	肺炎	率 20.7 (順位) 9	53.7 5								2.2 38	4.1 42	11.6 16	29.1 30	69.1 34	166.0 23	287.8 2	1384.1 12				
	肝疾患	率 5.1 (順位) 39	7.3 16			2.3 47	2.2 42	2.3 37	4.4 41	6.2 43	2.1 12	5.0 42	9.7 39	16.2 20	30.7 41	40.2 39	26.8 8	62.7 28				
	糖尿病	率 6.3 (順位) 46	10.0 30								4.4 46	4.1 43	17.3 47	16.2 44	45.3 34	40.2 7	108.2 26					
	腎不全	率 4.6 (順位) 5	10.6 3	2.5 45							2.1 39	3.2 34	11.6 44	3.2 3	34.5 46	46.8 1	250.6 10					
	不慮の事故	率 7.4 (順位) 1	12.4 1			2.1 6	2.3 5	2.0 12	4.5 25	6.5 31	4.1 13	5.0 7	11.6 9	22.6 15	45.3 2	80.3 2	182.3 4					
	自殺	率 11.1 (順位) 31	11.2 10			2.2 45	4.3 31	16.1 43	17.8 42	18.1 46	10.9 26	14.4 35	19.4 25	11.6 9	19.4 26	30.2 34	20.1 6	5.7 1				

注：順位は低率順である。
は、都道府県順位がベスト5。
は、都道府県順位がワースト5。

■用語解説

※五十音順。

※計画名称のように、「沖縄県」「沖縄」が文頭にある語句は、その次の語句で配列した。

[数 字]

21世紀における
国民健康づくり運動
(健康日本21)

がん、心臓病、脳卒中、糖尿病等の生活習慣病の予防を図るため、2010年度等を目途に具体的な目標を国において定めた第3次国民健康づくり対策。平成12年3月策定。計画の期間は2012年度までで、生活習慣の改善・健康増進により、生活習慣病等を予防する一次予防に重点をおいている。

26ショック

平成14年12月に、平成12年国勢調査の結果が発表され、男女ともに平均寿命は伸びているものの、沖縄県男性の平均寿命は、全国平均を下回り、平成8年の4位から26位に後退した。

沖縄県は長寿県と言われていたが、全国順位を大きく後退させたことで、健康危機が県民に認識された。

8020運動
(ハチマルニイマル運動)

生涯を通じた歯科保健対策として、80歳で20本以上の歯を残そうとする運動のこと。厚生労働省や日本歯科医師会等により推進されている。また、60歳で24本以上の歯を残そうという「6024運動」もある。

[い]

沖縄県医療費適正化
計画

生活習慣病の予防対策の推進と療養病床の再編を中心とした効率的な医療提供体制の確立により、県民の生活の質の維持・向上を図り、医療費適正化を図ることを目的とした計画(平成20年3月策定)。

[え]

エクササイズガイド
2006

健康づくりのために安全で有効なスポーツなどの運動や日常生活活動の指針として国が作成した「健康づくりのための運動指針2006」のこと。スポーツだけでなく、日常の歩行や階段の上り下りといった生活活動も運動に含め、一週間の目標運動量を示している。

エネルギー摂取比率

一日のエネルギーをどの栄養素から摂取しているのかをみた比率。
(健康的なエネルギー比率(成人))
タンパク質 12～15%、脂質20～25%、糖質60～68%

[か]

沖縄県がん対策
推進計画

がんの予防から治療、在宅療養までを範囲とし、がん対策を総合的かつ計画的に推進するための5か年計画。(平成20年3月策定)

がん登録

がん患者の、診断、治療及びその後の転帰に関する情報を収集し、保管、整理、解析する仕組みのこと。がん登録には各医療機関が実施する院内がん登録、自治体が実施する地域がん登録などの制度がある。

がんの年齢調整
罹患率

年齢構成の異なる集団の間で罹患率を比較する場合や、同じ集団で罹患率の年次推移を見る場合に用いる罹患率。

がん罹患率

ある集団で新たに診断されたがんの数を、その集団のその期間の人口で割った値。

[き]

虚血性心疾患

心臓を養う冠動脈が動脈硬化によって次第に閉塞し、心臓の筋肉(心筋)に血液が届かなくなった(虚血)ため、その部分の心筋が機能を失う病気。急性心筋梗塞や狭心症などをいう。

[け]

県民健康・栄養調査

県民の健康及び栄養に関する現状と課題を把握するために、実施している調査。 エネルギーの摂取状況や、身体状況だけでなく、運動や喫煙、食事時間、歯科保健などの生活習慣も調査している。

国が実施する国民健康・栄養調査は毎年実施される。また5年に1度は、調査区を拡大して県民健康・栄養調査を実施している。

[こ]

沖縄県高齢者保健福祉計画

高齢者が健やかでいきいきと、住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、高齢者に対する福祉サービス、保健事業や介護保険サービス(県介護保険事業支援計画)などについて、総合的に策定した3か年計画。(平成18年3月策定)

国勢調査

統計法に基づき、国内の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として、大正9年以来ほぼ5年ごとに行われている。直近では、第18回調査が平成17年に実施された。

[し]

沖縄県自殺総合対策行動計画

国の自殺対策基本法及び自殺総合対策大綱に基づく県計画。自殺予防や遺族への支援なども含めた、行政をはじめ民間の関係機関・団体等が相互に連携し総合的な対策を推進する。平成20年3月策定。

食育

「食育」とは、生きる上での基本であって、知育、徳育、体育の基礎となるべきもので、さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることである。「食育」という言葉の概念は、単なる食生活の改善だけでなく、食を通じたコミュニケーションやマナー、自然の恩恵に対する感謝の念と理解、優れた食文化の継承など、広範な内容が含まれている。

平成17年6月に食育基本法が制定された。

沖縄県食育推進計画「食育おきなわうまんちゅプラン」

食育基本法の目的・基本理念を踏まえ、食育関係者と県民がそれぞれの役割に応じて、連携・協力しながら、食育に取り組むための基本方針(平成19年2月策定)。

食事バランスガイド(沖縄版食事バランスガイド)

1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいかが一目で分かる食事の目安を、コマの形で示した。沖縄の郷土食を入れた沖縄版も作成されている(平成18年3月作成)。

人工透析
(新規透析導入率)

腎臓には、血液を濾過して老廃物を排泄する働きがあるが、その機能が低下して役割を十分に果たせなくなったとき(腎不全)に腎機能を人工的に補うための方法。

特に慢性腎不全の原因疾患としては、糖尿病性腎症や、慢性糸球体腎炎、高血圧などがあり、近年、糖尿病性のものが増え続けている。

また、新規に透析を開始した患者数の人口10万人あたりの割合を新規透析導入率といい、原因疾患の増加や重症化などが反映された数値となる。

*新規透析導入患者÷対象人口×10万

人口動態調査

人口動態(出生、死亡、死産、婚姻、離婚)を把握し、人口及び厚生行政施策の基礎資料を得ることを目的とした調査。

[す]

健やか親子おきなわ
2010

沖縄県の親と子が健やかでたくましく成長することができるように、2010年までに達成したい目標と取り組むべきことを定めた親と子の健康づくりの計画。

家庭・地域・職場・学校・行政等が一体となって健康づくり運動を効果的に推進する(平成14年3月策定)。

健やか生活習慣
国民運動

医療制度改革(H19年度～)に伴う、健康増進の取り組み。健康日本21のうち、「運動・食事・禁煙」に特化し、「健やかな生活習慣」の普及定着を目指す国民運動を展開する。平成20年度スタート。

[せ]

世界長寿地域宣言

戦後50年記念事業の一環として、公衆衛生、医療、保健、栄養を中心に、沖縄県長寿の検証を実施し、本県が世界に誇れる長寿地域であるとして、「世界長寿地域宣言」を行った(平成7年8月18日)。

「世界長寿地域宣言」では、健康的な長寿社会の達成と世界の人々の平和を希求するとともに、本県の長寿が戦後50年の各分野における県民のたゆみない努力の賜であることを確認し、さらなる努力を続ける決意を表明したものである。県総合運動公園に、記念碑が建立されている(平成8年3月28日)。

[そ]

(粗)死亡率

年齢や死因別などの死亡数をその集団の人口で割った値。

総合型地域スポーツクラブ

「誰でも」「いつでも」「世代を超えて」「好きなレベルで」「いろいろなスポーツを」楽しめる地域のコミュニティクラブ。性別・世代を超えて参加できる。

市町村ごとに設置され、それぞれのクラブで独自に活動している。

[に]

乳幼児死亡率

生まれた子供1000人に対して、5歳までに死亡する確率。

[ね]

年齢調整死亡率

集団の年齢構成の違いを調整して、異なる集団や年次推移などを比較できるようにした、死亡率。各年齢階級別の粗死亡率と基準人口(昭和60年の国勢調査の人口構成を元に補正した人口)を用いる。

[の]

脳血管疾患

脳の血管が詰まったり、破れたりして起こる病気のこと。脳血管疾患のうち、**脳梗塞**や脳内出血、クモ膜下出血などを一般的に脳卒中という。

[は]

「早寝 早起
朝ごはん」運動

子供の基本的な生活習慣を育成し、生活リズムを向上させるとともに、地域全体で家庭の教育力を支える社会的機運の醸成を図るための国民運動。

[ひ]

日比式

肥満度を測定する方式の一つで、特に児童・生徒の肥満度の測定に用いられる。小児及び児童・生徒における肥満の定義については、多くの指標が用いられており、“標準的”といえるものは存在しないが、『健康日本21』では、日比式の“標準体重”を用いて、肥満度20%以上の者の割合を「児童・生徒の肥満」として指標に用いている。

[へ]

平均寿命

特に0歳児の平均余命を平均寿命と呼ぶ。保健医療の水準が低かったり、自殺や事故、災害、戦争等により早世(早く亡くなる)が多いと、期待される余命が減少し、平均寿命への影響が大きい。

そのため、0歳の平均余命(平均寿命)は、現在の全般的な保健医療・社会情勢を表す指標として用いられ、世界的にも比較される指標となっている。

平均余命

平均余命は、現在の死亡状況が将来にわたって続くと仮定した場合、ある年齢の人々がその後何年生きられるかという期待値。

死亡状況は、病気だけでなく、事故や自殺、災害、戦争なども死亡に影響を与えるため、平均余命はその時の健康問題や保健医療水準、社会保障水準等を反映したものとなる。

[ほ]

沖縄県保健医療計画

「健康福祉社会の実現と安全安心な生活の確保」の実現に向けて、県民が「いつでも」「どこでも」「誰でも」適切な保健医療サービスを受けられることができる保健医療提供体制の整備を目標とした5か年計画(平成20年4月改訂)。

沖縄県保険者協議会

県内の各医療保険者が連携・協力し、被保険者の健康保持や、増進を図るとともに、保健事業等の円滑な事業運営に資することを目的とした組織。

■健康づくりに関する週間・月間等

月	行事名	実施期間	主催(主唱)等
毎月	県民健康の日	毎月 7日	沖縄県
4月	未成年飲酒防止強調月間	1~30日	国税庁他
	世界保健デー	7日	WHO
5月	世界禁煙デー	31日	WHO
	禁煙週間	31日~6月6日	厚生労働省
6月	食育月間	1~30日	内閣府、文部科学省、厚生労働省、農林水産省
	むし歯予防デー	4日	日本歯科医師会
	歯の衛生週間	4日~10日	厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会
7月			
8月			
9月	健康増進普及月間	1~30日	厚生労働省
	がん征圧月間	1~30日	厚生労働省
	自殺予防デー	10日	厚生労働省
	自殺予防週間	10~16日	厚生労働省
10月	食生活改善普及月間	1~31日	厚生労働省
	母子保健強調月間	1~31日	母子保健推進会議、厚生労働省
	体力づくり強化月間	1~31日	体力づくり国民会議、総務省
	健康強調月間	1~31日	健康保険組合連合会、厚生労働省
	40歳からの健康週間	第2月曜からの1週間	厚生労働省
	ピンクリボン月間	1~31日	J. POSH
	精神保健福祉普及週間	10月下旬の一週間	厚生労働省
11月	いい歯の日	8日	日本歯科医師会
	全国糖尿病週間	14日を含む週	(社)日本糖尿病協会
12月			
1月			
2月	生活週間病予防週間	1~7日	厚生労働省
3月	女性の健康週間	1~8日	厚生労働省

■アクションプラン策定の経緯

1 健康おきなわ2010の策定・取り組み状況

平成14年1月 健康おきなわ2010策定

- * 計画期間:平成13年(2000年)～平成22年(2010年)
- * 「早世の予防」「健康寿命の延伸」「QOLの向上」により、健康の基盤を整え、豊かな人生を送ることを目的とする「健康づくりの指針」として策定。
- * 目的を達成するために、「一次予防の重視」「多様な実施主体の参加による県民一体の健康づくり」「目標の設定と評価」を主な考え方として取り組みを推進することとした。

平成14年4月 「健康おきなわ2010推進県民会議」を設置

- * 計画の推進母体として、「健康おきなわ2010推進県民会議」を設置した。保健医療団体だけでなく、商工会や農協などの産業関係団体、婦人連合会や老人クラブ、報道関係各社など、32団体が参加している。

平成14年12月 沖縄県男性の平均寿命が全国26位へ後退（「26ショック」）

- * 平成14年12月に発表された平成12年都道府県別生命表の平均寿命で、沖縄県男性が全国平均を下回り、その結果、全国26位へ後退した（「26ショック」）。

平成15年1月 沖縄県の長寿の危機 緊急アピール(県民会議)

- * 平均寿命の後退は、壮年層等の生活習慣病の増加による死亡率の悪化、早世などが原因と考えられ、県民会議により、緊急アピールを行った。
- * 県民それぞれが、改めて自らの健康づくりを考え、生活習慣を改善する等主体的に取り組むと共に、関係各団体が連携して、個人の健康づくりを支えていく取り組みを推進することを呼びかけた。

平成17年3月 「重点課題」の設定(県民会議)

- * 平成17年度から県民会議として「肥満対策」を「重点課題」に設定し、構成団体の重点的な取り組みや連携による推進を行うこととした。

平成17年度:「肥満対策」→肥満対策標語の選定等

「食事 運動 バランスよく そんなあなたは体重美人」

(平成16年度)全保健所での中高生対象のヘルシーメニューコンテスト開催

(平成17年度)標語選定、県版バランスガイド作成

平成17年度 健康おきなわ2010中間評価

- * 計画開始から5年目で折り返しを迎える平成17年度に、中間評価を実施した(中間評価報告書は平成18年6月にとりまとめ)。

- * 健康おきなわ2010推進のため、キャッチコピーやロゴマークを選定した。

キャッチコピー:「いちまでいん チャーガンジュー!健康おきなわ2010」

平成18年3月 「重点課題」の設定(県民会議)

*平成18年度:

「肥満対策」→肥満対策緊急アピールの実施。

「タバコ対策」→受動喫煙防止対策を進めるため、平成18年5月31日より沖縄禁煙分煙施設認定制度を開始。従来から世界禁煙デー5月31日には講演会や教育機関と連携した未成年者の喫煙防止対策を実施。

「むし歯予防」→フッ化物応用キャッチコピー設定。

「歯ブラシとフッ素でつくる元気な歯」

沖縄県3歳児のむし歯有病者率は平成13年度から5年連続ワースト。取り組み推進のために、キャッチコピーを作成、対策強化を図る。

平成18年4月 沖縄県の肥満対策 緊急アピール(県民会議)

*平成15年度県民健康栄養調査の結果、約4割が肥満と判定された。特に壮年期で肥満の割合が高く、併せて虚血性心疾患や脳卒中の死亡率も全国より高い。

*生活習慣病予防のために、県民それぞれが食事や運動などを見直し、適正体重の維持に取り組むと共に、外食産業で栄養成分表示を行うことや、市町村・職場では運動しやすい環境づくりを図るなどの取り組みを推進することを呼びかけた。

ポスター作成:「ウチナンチュの肥満改善大作戦」

個人でできること→体重を量ること、運動、かしく食べる

事業者などが取り組むこと→栄養成分表示、環境づくり

平成18年度 健康づくり・スポット広告(テレビCM)の作成

重点課題や、健康危機に対する普及啓発のため、CMを作成し、テレビ、タウンビジョン、インターネット等で広報した。

①生活習慣病予防対策:肥満危機一髪編

②健康意識向上:長寿県はいずこ編

③歯科保健:フッ化物応用編

} キャッチコピー
「カラダ気をつけ!沖縄県」

平成19年2月 「重点課題」の設定(県民会議)

*平成19年度:「肥満対策」「タバコ対策」「むし歯予防」を継続して設定した。

その他の取り組み・調査等

*その他、各分野での取り組みや、県環境衛生研究所と共同して、調査や分析を行っている。

こころの健康:こころの健康についてリーフレットを作成(平成16年度)

市町村健康増進計画策定の支援:保健所ごとに支援。平成19年度末26市町村が策定済。

受動喫煙防止対策:「施設の分煙状況に関する実態調査」(平成15年度)

職域保健の取り組み:「働いている方の健康に関するアンケート調査」(平成16年度)

県民健康・栄養調査:平成15年度、平成18年度

2 健康おきなわ2010の改定～健康おきなわ21へ～

(1)平成20年度からの医療制度改革に合わせた改定

平成20年度からの医療制度改革において、医療費適正化に向けて、生活習慣病対策の強化が重要な柱の一つと位置づけられ、各県の健康増進計画の改定や、医療費適正化計画等の策定が行われた。改定後計画では、生活習慣病の予防対策を充実・強化するために、メタボリックシンドロームの該当者・予備群の減少率や健康診査・保健指導実施率等の目標値を記載し、関連計画(医療費適正化計画等)との整合を図った効果的な取り組みを推進することとした。

(2)健康長寿の維持・継承に向けた対策の拡充強化のための改定

本県は、長らく長寿県と言われていたが、いわゆる「26ショック」や肥満率の高さなど、今後の長寿維持は難しい状況にある。「健康おきなわ2010」の中間評価の結果等から、特に、肥満対策、タバコ対策及び歯科保健対策が重点課題と位置づけられ、対策の強化が求められている。

そこで、改定版の健康おきなわ2010を、県民一体の健康づくり運動の展開に向けた長寿復活のアクションプランとして位置づけ内容を充実させる。

3 健康おきなわ21への改定

平成19年2月・3月 健康おきなわ2010推進検討委員会、同県民会議の開催

健康増進計画の改定を行うことを説明。

平成19年6月12日～8月16日 各分野別検討委員会・総括委員会、有識者懇談会の開催

各分野別検討委員会(14回)、総括委員会(2回)、有識者懇談会(7月30日)を開催し、健康づくりの取り組みの方向性、各分野の課題、新たな県民運動の展開に向けた方策等について、意見を聴取・検討を行った。

平成19年8月30日・9月6日 健康おきなわ2010推進検討委員会・同県民会議の開催

分野別検討委員会等で検討した内容を「長寿世界一復活に向けたアクションプラン(骨子)」としてまとめた。

平成19年11月7日 健康おきなわ2010推進検討委員会の開催

アクションプランの目標項目、目標値の検討、計画名称やスローガンの検討。

平成19年11月22日 第3回総括分野別検討委員会の開催

アクションプランの原案を検討。

平成19年12月26日 アクションプラン案決定

平成20年1月21日～2月20日 パブリックコメント募集

県ホームページで計画の概要や数値目標等を公開し、県民からの意見を募集した。

平成20年2月6日 健康おきなわ2010推進検討委員会の開催

アクションプラン案の検討、意見の聴取。今後の推進体制の検討や関係機関が連携した取り組みの継続の確認。

平成20年3月 アクションプラン策定、健康おきなわ2010推進県民会議の開催

アクションプランを策定し、県民会議へ報告。今後の推進体制への参加や協力を確認。

平成20年4月1日 アクションプランスタート

「健康おきなわ 2010」推進県民会議名簿 平成19年度 (所属・役職は当時)

1	宮城 信雄	沖縄県医師会 会長	17	翁長 雄志	沖縄県市長会 会長
2	高嶺 明彦	沖縄県歯科医師会 会長	18	宮城 篤実	沖縄県町村会 会長
3	神村 武之	沖縄県薬剤師会 会長	19	大城 惟宏	沖縄県農業協同組合中央会 会長
4	大嶺 千枝子	沖縄県看護協会 会長	20	下地 敏彦	沖縄県漁業協同組合連合会 代表理事長
5	下地 洋子	沖縄県栄養士会 会長	21	荻堂 盛秀	沖縄県商工会連合会 会長
6	平井 哲夫	沖縄県国民健康保険団体連合会 常務理事	22	儀間 紀善	沖縄県商工会議所連合会 会長 (H19.12~空席)
7	金城 幸善	沖縄県総合保健協会 理事長	23	仲村 信正	沖縄県労働者福祉基金協会 理事長
8	坂口 一	沖縄県保健医療福祉事業団 副理事長	24	浦崎 直清	沖縄県食品衛生協会 会長
9	山城 愛子	沖縄県産業看護研究会 代表	25	照屋 仁士	沖縄県青年団協議会 会長
10	仲里 雅之	琉球放送報道部報道局 報道局	26	平良 一彦	琉球大学 法文学部教授
11	岸本 正男	沖縄タイムス社 代表取締役社	27	伊波 輝美	沖縄県福祉保健部 部長
12	小渡 ハル子	沖縄県婦人連合会 会長	28	仲村 守和	沖縄県教育庁 教育長
13	花城 清善	沖縄県老人クラブ連合会 会長	29	崎山 八郎	沖縄県保健所長会 会長
14	安里 芳子	沖縄県食生活改善推進員連絡協 会 会長	30	仲本 晴男	沖縄県総合精神保健福祉 センター所長
15	神村 洋子	沖縄県PTA連合会 副会長	31	吉澤 保法	厚生労働省沖縄労働局 労働基準部長
16	積 洋一	沖縄県ウォーキング協会 会長	32	津覇 徹	沖縄社会保険事務局 保険課長

「健康おきなわ2010」推進検討委員会名簿 平成19年度 (所属・役職は当時)

1	大山 朝賢	沖縄県医師会 常任理事	9	本間 勝	沖縄県保健医療福祉事業団 参事
2	加藤 進作	沖縄県歯科医師会 理事 (地域歯科保健担当)	10	白金 広正	沖縄県教育庁保健体育課 課長
3	江夏 京子	沖縄県薬剤師会 副会長	11	金城 芳秀	県立看護大学 教授
4	福盛 久子	沖縄県看護協会 専務理事	12	小川 仁	厚生労働省沖縄労働局労働基準 安全衛生課 課長
5	金城 典子	沖縄県栄養士会 副会長	13	長濱 みつ子	沖縄社会保険事務局保険課 課長補佐
6	高嶺典子	那覇市 健康保険局参事 兼健康推進課長	14	古城 尚志	沖縄産業保健推進センター 副所長
7	古堅 良光	社会保険健康事業財団 沖縄県支部 支部長	15	譜久山 民子	沖縄県福祉保健部 健康増進課 課長
8	仲村 益夫	沖縄県国民健康保険団体連合会 事務局長			

有識者懇談会 名簿

(所属・役職は当時)

1	渡邊 昌	国立健康・栄養研究所 理事長	6	新城澄枝	沖縄県栄養士会 (理事・琉大教育学部教授)
2	瀧下 修一	独立行政法人琉球大学医学部 附属病院長	7	崎山 八郎	沖縄県保健所長会会長 (中部福祉保健所長)
3	宮城 信雄	県医師会 会長	8	玉城 信光	沖縄県政策参与
4	高嶺 明彦	県歯科医師会 会長	9	伊波輝美	沖縄県福祉保健部長
5	大嶺千枝子	沖縄県看護協会 会長			

「健康おきなわ 2010」分野別検討委員会名簿 ◎は分野別委員長(所属・役職は当時)

総括委員会

- 1 ◎ 国吉 秀樹 北部福祉保健所 健康推進班長
親富祖勝己 休養・こころ・アルコール分野別検討委員
金城 昇 食生活・運動分野別検討委員会
嘉数光一郎 タバコ分野別検討委員会
比嘉千賀子 歯科分野検討委員会
東 朝幸 生活習慣病検討委員会：循環器
松野 朝之 生活習慣病検討委員会：長寿指標
桑江なおみ 生活習慣病検討委員会：統計

栄養・食生活・身体活動

- 2 ◎ 金城 昇 独立行政法人琉球大学 教育学部 教授
3 長濱 直樹 宜野湾市 健康増進課 係長
4 比嘉 輝子 沖縄県食生活改善推進連絡協議会 顧問
5 山城 麗子 日本健康運動指導士会沖縄県支部 支部長
6 島袋 全哲 中央保健所 健康推進班長
7 田場美智子 沖縄市 市民健康課 副主幹(管理栄養士)
8 大城貴美子 沖縄県産業看護研究会 (NTT西日本健康管理センター)
9 仲里 健 財団法人 沖縄県体育協会 (総合型地域スポーツクラブ育成アドバイザー)

タバコ

- 10 ◎ 嘉数光一郎 県立南部医療センター 内科部長
11 平良智枝子 教育庁保健体育課 主任指導主事
12 座嘉比照子 中央保健所 健康推進班 保健師
13 普久原阿津子 沖縄県産業看護研究会 (琉球銀行)
14 錦古里正一 NPO法人 宜野湾市まちづくり振興会事務局長
15 玉城 清酬 沖縄県医師会(空と海とクリニック院長)

こころの健康づくり・アルコール

- 16 ◎ 親富祖勝己 県立中部病院 精神神経科医師
17 銘苺 辰美 中央保健所 地域保健班長
18 瀬底 好美 総合精神保健福祉センター 相談指導グループ主任保健師
19 嘉手納 尚 沖縄労働局労働基準部安全衛生課 地方労働衛生専門官
20 高倉 実 独立行政法人 琉球大学医学部 教授
21 芦田美佐子 沖縄県産業看護研究会 (浦添市役所職員課)

生活習慣病・がん

- 22 ◎ 東 朝幸 南部保健所 保健総括兼健康推進班長
23 松野 朝之 中部保健所 健康推進班長
24 山川 宗貞 八重山保健所 健康推進班 医師
25 金城 芳秀 県立看護大学 教授
26 和氣 亨 県立南部医療センター 腎・リウマチ科部長
27 大屋 祐輔 独立行政法人琉球大学医学部 准教授
28 崎原 永辰 那覇市医師会検診センター 副所長
29 桑江なおみ 沖縄県衛生環境研究所 主任研究員
30 賀数 保明 沖縄県衛生環境研究所 主任研究員

歯科保健

- 31 ◎ 比嘉千賀子 北部保健所 健康推進班 主任歯科医師
32 加藤 進作 県歯科医師会 理事(くぼがわ歯科医院院長)
33 新垣 牧子 市町村保健師研究会 (西原町保健師)
34 大城 栄子 沖縄県保育協議会 (ときわ保育園長)
35 福本利江子 沖縄県養護教諭研究会 (城北小学校)
36 高橋 浩代 沖縄県歯科衛生士会 副会長

事務局(沖縄県福祉保健部)名簿 (所属・役職は当時)

伊波 輝美 福祉保健部長
仲宗根 正 福祉保健部保健衛生統括監

○健康増進課

譜久山民子 健康増進課長

○健康増進課成人保健班(担当分野)

前田 光幸 成人保健班長
仲村 裕子 (計画総括、食生活・運動)
多和田美佐子 (食生活・運動)
蔵根 瑞枝 (生活習慣病、長寿指標)
坂名城恭子 (歯科保健 タバコ)

仲里 綾子 (こころの健康・アルコール、生活習慣病)
浦崎 祥子 (生活習慣病、がん)
上原 健司 (がん、生活習慣病)
大平 明 (タバコ、こころの健康・アルコール、歯科保健)

■本計画に記載されている県民健康・栄養調査のデータについて

今回の計画策定では、県民健康・栄養調査のデータが多用されています。集計にあたっては、メタボリックシンドローム該当者等のデータの信頼性を確保するため、都道府県健康・栄養調査マニュアル(厚生労働省、平成18年6月)に基づき、複数年で調査された50調査区分を集計することとしました(下表)。本文中およびグラフにおける表記は下記のとおりとしています。

(1)平成15年から平成18年の国民・県民健康・栄養調査データを合わせて集計したデータ

本文表記: **県民健康栄養調査、県民健康栄養調査(H15-18)**

グラフの出典: 特に記載していません。

(2)当該年度分のみの県民健康栄養調査データ

本文表記: **平成18年度県民健康栄養調査 … 平成18年度分のデータ**

県民健康栄養調査(H15・18) … 平成15年度と平成18年度分を合わせて集計

グラフの出典: 年度のみ。または**県民健康栄養調査(H18)**

【県民健康栄養調査の実施状況】

調査年度	種類	①栄養摂取状況調査	③生活習慣調査
		②身体状況調査	
平成15年度	国民・県民	20地区	/
平成16年度	国民	2地区	
平成17年度	国民	3地区	
平成18年度	国民・県民 県民	25地区	50地区
平成15-18年度の合計	調査地区数	50地区	50地区

①栄養摂取状況調査: 栄養素摂取状況、カロリー比率、欠食の状況、生活強度、業態など

②身体状況調査: 身体計測、腹囲、問診、血液検査、口腔内状況調査(H15,18のみ)など

③生活習慣調査: 健診の受診状況、飲酒、喫煙、睡眠、メタボの概念を知っているか、など

■ ブレスロー7つの健康習慣の設問項目

(Ⅲ章 1 県民の健康の現状と課題 (4) 県民の生活習慣の状況)

県民の生活習慣(保健行動)についての課題を浮き彫りにするために、7つの健康的な生活習慣の実施状況を用いて、年齢階級、男女ごとで比較・分析した
(本計画Ⅲ章1 県民の現状と課題 (4) 県民の生活習慣の状況)。

「ブレスローの7つの健康習慣」の設問項目は、平成18年度県民健康・栄養調査(生活習慣調査)の設問項目を用いた。各設問で、実施していれば1点、実施していなければ0点とし、7つの項目の合計得点を個人別に算出するもので、満点は7点となる。

ブレスローの7つの健康習慣と設問の対応コード表

ブレスローの健康習慣	点数	生活習慣調査の設問項目
1. 適正な睡眠時間	1	問8 ここ1ヶ月間、1日の平均睡眠時間は？ 3～5 6時間以上9時間未満 と答えた者
	0	上記以外(無回答を含む)
2. 喫煙をしない	1	問13 2 100本6ヶ月未満、3 吸ったことがない。 問13 1 と回答→問14 現在たばこを吸っていますか。 3 今は吸っていない と答えた者
	0	上記以外(無回答を含む)
3. 適正体重を維持する	1	身長、体重より(身体状況調査 or 自己申告) BMIが18.5～25(普通) の者
	0	上記以外(無回答を含む)
4. 過度の飲酒をしない	1	問9 週に何日くらいお酒を飲むか？ 6. やめた(1年以上) 7. 飲まない(飲めない) と答えた者 問9-1 1日に飲む量はどのくらい？(清酒換算) 1, 2 2合未満 と答えた者
	0	上記以外(無回答を含む)
5. 適度な運動をする (定期的にかなり激しい運動をする)	1	問3 積極的に運動を心がけている？ 1. はい と答えた者
	0	上記以外(無回答を含む)
6. 朝食を毎日とる	1	問1 ふだん朝食を食べるか？ 1. ほとんど毎日 と答えた者
	0	上記以外(無回答を含む)
7. 間食をしない	1	問3 夕食後の飲食は？ 4 まったく食べない と答えた者
	0	上記以外(無回答を含む)

～裏表紙「県民健康の日」について～

「自分の健康は自分で守る」という認識のもとに、県民ひとり一人が、家族が、職場が、地域全体が、それぞれにあった健康づくりを地道に根気よく実践していくことを目的として設定されました。4月7日の世界保健デーにちなみ、毎月7日を「県民健康の日」としています。(昭和60年12月)

- ・自らの健康チェックと、それにみあった健康づくり
- ・家族ぐるみの健康づくり
- ・地域及び職域での健康づくりと、グループ活動の促進と育成

○シンボルマーク・標語の設定(昭和60年10月)

栄養・運動・休養のバランスを表したトライアングルと、家族みんなで日常生活から健康づくりをしている様子として、お父さん、お母さん、子供の3人姿を組み合わせて表しました。

標語:「一・二・三 いきいき健康づくり」

健康おきなわ21

～長寿世界一復活に向けて～

発行年月日 : 平成20年3月14日

発 行 : 沖縄県福祉保健部健康増進課

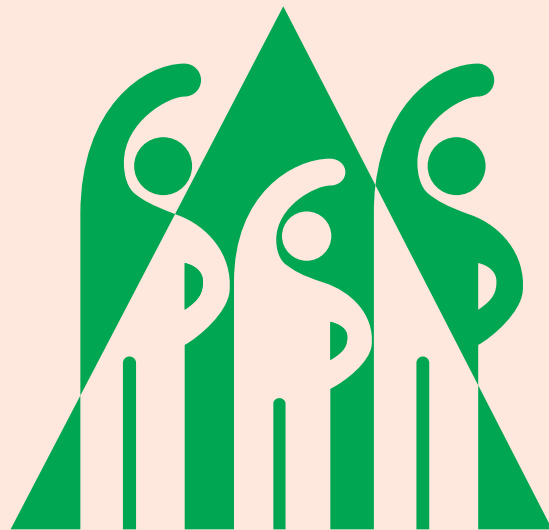
〒900-8580 沖縄県那覇市泉崎1-2-2

電話 098-866-2209 FAX 098-866-2289

URL <http://www.kenko-okinawa.jp/>

E-mile aa031003@pref.okinawa.lg.jp

毎月7日は県民健康の日



1・2・3 いきいき健康づくり